

会って 話して つながろう！！

第7回（2019年度）

ボランティア交流サミットひろしま



この事業には共同募金財源が活用されています

～ 私たちだからできる。被災者支援ボランティア活動と地域づくり ～

With これまでの経験をこれからの防災・減災につなげるフォーラム

開催要綱

1. 趣 旨

平成30年7月豪雨災害では、延べ約12万人のボランティアが災害ボランティアとして広島県内で活動しました。近年こうした大規模な自然災害が頻発する中、災害ボランティアの認知が広がり、今や「ボランティア不足」が報道されるなど、その力は社会的に不可欠なものとなっています。

その一方で、災害ボランティア活動を体験したからといって、日常的な地域でのボランティア活動には必ずしも結びついておらず、ボランティア活動者・団体は、活動者の高齢化や新たな担い手不足のため活動の停滞や休止等の課題を抱えています。

本サミットは、「会って 話して つながろう!!」をテーマに、県内の多分野・多世代の活動者や活動に関心のある人や団体が集い、日ごろの活動の情報交換や交流をすすめます。このことを通じ、多様なボランティア観を共有し、それぞれが抱える課題の解決や軽減のヒントを得ながら、お互いに支え合うことができる地域づくりを考えます。

また、本サミットと合わせて「これまでの経験をこれからの防災・減災につなげるフォーラム」を開催し、県内のこれまでの災害支援の経験や課題を踏まえて、今後起こり得る災害に備えるための地域づくりを考えます。

2. 主 催

第7回ボランティア交流サミットひろしま実行委員会
社会福祉法人 広島県社会福祉協議会（広島県ボランティアセンター）
特定非営利活動法人 ひろしまNPOセンター

3. 後 援

広島県（予定）

4. 日 時

令和2年2月2日（日） 10：00～16：30

5. 会 場

広島県社会福祉会館（2F/講堂、会議室1～5） ※会場案内図参照
（広島市南区比治山本町12-2 | TEL：082-254-3411）

6. 参加対象（定員150人）

- （1）ボランティア活動・市民活動をしている人・関心がある人
- （2）社協・中間支援組織・行政・大学・学校・企業等でボランティア・市民活動に関わる人等

7. スケジュール

9:30	10:00	10	10:40	11:00	12:30	13:30	15:00	20	16:30
受付	挨拶	オープニング…	① オープニングセッション	移動	② 分科会 (午前)	休憩 (昼食)	③ 分科会 (午後)	移動	④ クロージングセッション

8. 内 容

① オープニングセッション

「防災・減災“いどばたかいぎ”のはじめ方 ～ これまでの経験をふりかえるために ～」

広島における近年の被災者支援活動についてふりかえりながら、今回取り扱うテーマの全体像を示し、分科会（いどばたかいぎ）の論点を整理・共有します。

ファシリテーター：松原裕樹 ひろしまNPOセンター 事務局長
 (ボランティア交流サミットひろしま実行委員会副委員長)

②③ 分科会 (午前, 午後 各回90分)

<午前 (11:00~12:30) >

A	タイトル	災害ボランティア活動をきっかけにした地域づくり ～ “思い”をつなげていくために必要な3つの視点～
	概要	平成30年7月豪雨災害, 平成26年広島土砂災害等の大きな災害が続く中, 「自分にもできる被災者支援活動をしたい」と, この思いが起点となる災害ボランティア活動は大きな社会現象にもなっています。災害ボランティア活動に寄せられた“思い”を, 日頃の生活の中での防災・減災, 見守り活動などにつなげていくために必要なことを整理しながら, これからの地域づくりを考えます。
B	タイトル	誰も取り残さない災害支援 ～ 支援が届きにくい人たちの声を聞こう～
	概要	災害時に, 逃げたくても逃げられない人, 迷惑をかけるのではと遠慮して必要な支援を周りにお願ひできない人がいます。障害者, 子ども, 外国人の支援に関わる人から平成30年7月豪雨災害で実際に困ったことなどを聞きながら, 実態を知り, 自分とは無関係ではないことを理解し, 誰も取り残さない災害支援や日頃からの関係づくりを考えます。
C	タイトル	多様な支援者との連携やネットワークのつくり方 ～ できたこと, できなかったこと, とりくみたいこと～
	概要	災害時における様々なニーズに対応し, 切れ目のない支援を継続するために, 「ボランティアの力を促す情報発信」「支援活動を調整・整理するファシリテーション」「組織の強みを活かした被災者支援」「他県で展開された新しい試み」について知識やノウハウを共有し, 次なる備えや地域づくりを進めていくためのネットワークをつくります。

<午後（13：30～15：00）>

D	タイトル	災害時にも生きる，日頃のボランティア活動，地域活動 ～ つながりから生まれる，ともに暮らしていく地域づくり ～
	概要	サロン活動等が積極的に行われている地域において，災害時の被災者支援活動につながった事例がありました。日頃のボランティア活動，地域活動等により，人と人のつながりを紡いでいる事例を学びながら，災害時にも生きる，ともに暮らしていく地域づくりを考えます。
E	タイトル	防災ゲームを活用した，防災，減災の取り組み ～ 災害への備え，自分とは異なる意見，価値観の存在に気づく ～
	概要	防災カードゲーム（クロスロード）を通じて，防災，減災の取り組みを自らの問題として考え，また，さまざまな意見や価値観を共有する方法を学びます。また，防災教育を取り入れた，災害時でも助け合うことができる地域づくりのすすめ方を考えます。
F	タイトル	これでいいのか，若者ボランティア ～ ぶっちゃけます，若者の本音 ～
	概要	「ボランティア活動していても，自分たちがどこまで役に立てているか，いつも不安」ボランティアをするそんな若者の本音，聞いたことありますか？ 経験豊富な大人に混じってボランティア活動する若者の赤裸々な声を受け止め，参加者全員で一緒になって，年齢も立場も越えて話し合い，どうすれば普段から若者が力を発揮し，他世代と支え合える関係になれるかを考えます。

④ クロージングセッション

「防災・減災“いどばたかいぎ”を終えて

～ これからの防災・減災・地域づくり，私たちができること ～」

分科会（いどばたかいぎ）の成果を共有しながら，これからの防災，減災，地域づくりに必要なキーワードをまとめ，お互いに支え合うことができる地域づくりに向けて，ボランティア活動の可能性を探ります。

コーディネーター：渡部朋子 ANT-Hiroshima 理事長

（ボランティア交流サミットひろしま実行委員会委員長）

9. 参加申込

(1) 申込締切日 令和2年1月24日（金）

(2) 申込方法

① 下記のWEBフォームより申し込んでください。



<https://forms.gle/SxvBrcNS15UutFxz9>

② チラシ裏面の参加申込書により，FAXで直接本会（広島県ボランティアセンター）へ申し込んでください。

③ 市町ボランティア連絡協議会の会員，及び市町社協に登録しているボランティア活動者及び団体は，当該市町社協に申し込んでください。

市町社協は参加者を取りまとめ，別紙の団体参加申込書により本会（広島県ボランティアセンター）に申し込んでください。

(3) その他

介助等のサポート（手話，要約筆記，車椅子の移動サポート等）を希望する場合は，申し込みの時にお伝えください。

10. 参加費

(1) 参加費 無料

(2) 昼食について

当日、650円(税込、お茶付)で弁当販売を行います。希望される場合は、事前の概数を把握するため申込書に弁当の要・不要を記入してください。

(代金は、当日弁当業者へ支払ってください。)

また、弁当の持ち込みも可能です。その場合は、弁当等のごみは必ず持ち帰ってください。

11. その他

(1) 情報コーナーに活動に関するパンフレットやチラシ等を置くことができます。希望される場合は、配布物を当日持参してください。

(2) 来場は、できるだけ公共交通機関を利用してください。

(3) 参加申込書に記載された個人情報は、運営管理の目的にのみ使用します。

(4) 本サミットは、(社福)広島県共同募金会からの助成金を活用して実施します。

12. 申込み及び問合せ先

(社福)広島県社会福祉協議会/地域福祉課 広島県ボランティアセンター(担当:河内)

〒732-0816 広島市南区比治山本町12-2

TEL 082-254-3506 FAX 082-256-2228

<会場案内図>



A. バス停「皆実町1丁目」(産業会館前)より徒歩1分

広島バス 横川駅～紙屋町(県庁前)～大学病院(23号線)

広島バス 広島駅～旭町(26号線)

広電バス 己斐～大学病院(10号線)

B. バス停「皆実町1丁目」(産業会館前)より徒歩3分

広電バス 三篠2丁目・横川駅～仁保車庫(7号線)

C. 電停「比治山橋」より徒歩5分

路面電車 広島駅～宇品(比治山下経由・5番線)

D. バス停「大学病院入口」より徒歩10分

広島バス 横川駅～大学病院(比治山トンネル経由 23-1号線)

広電バス 広島駅～大学病院(5号線)

